

中学校 1年生 保健体育科学習指導案

1 単元名 大単元「心身の機能の発達と心の健康」 小単元（性はどう向き合うか）

2 単元について

小学校では、体の発育・発達の一般的な現象や個人差、思春期の体つきの変化や初経、精通などを学習している。また、心と体と同様に発達し、心と体には密接な関係があること、不安や悩みへの対処などを学習している。ここでは、健康の保持増進を図るための基礎として、心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することについて理解できるようにする必要がある。また、これらの発達の仕方とともに、心の健康を保持増進する方法についても理解できるようにするとともに、ストレスへの対処ができるようにする必要がある。さらに、心身の機能の発達と心の健康に関する課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにすることが必要である。

このため、本内容は、年齢に伴って身体の各器官が発達し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心に上げるとともに、発育・発達の時期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖に関わる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であること、さらに、精神と身体は互いに影響し合うこと、心の健康を保つには欲求やストレスに適切に対処することなどの知識及びストレスへの対処の技能と、心身に機能の発達と心の健康に関する課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を中心として構成している。

3 単元の目標

知識・技能	心身の発達と心の健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようにする
思考力・判断力・表現力等	心身の発達と心の健康について課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動により、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
学びに向かう力・人間性	心身の発達と心の健康について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

4 生徒の実態と指導観

このクラスは、日ごろからやるべきことをわきまえて生活している生徒が多く、穏やかな雰囲気です。学友に取り組むことができるクラスである。クラスの仲もよく、明るく活発的な生徒がクラスを盛り上げ団結力も見られる。その一方で、穏やかで内気な生徒が隠れてしまい積極性に欠ける面も見られ、活発的な生徒との発言の差が生まれてしまう。発言の差を少なくするために、個人で考える場だけでなく、グループディスカッションの時間を多くとり、発言の順番などを指示し、全員が意見を発言できる場を設けるなどして取り組みやすい空間を作っていきたい。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
-------------	-----------------------	----------------------

<p>・身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。</p> <p>・思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解している。</p> <p>・知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。</p> <p>・精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身につけている。</p>	<p>・心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>・心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
1	体の発育・発達			
2	呼吸器・循環器の発達			
3	生殖機能の成熟			
4	性と動向き合うか 思春期になると、性に関してどんな意識の変化が起こるだろうか。 性情報に対してどのように対処すればよいだろうか。	○		
5	心の発達(1) 知的機能と情意機能の発達			
6	心の発達(2) 社会性の発達			

7	自己形成			
8	欲求不満やストレスへの対処			

7 本時の展開

① 本時の目標

- ・思春期における性意識の変化と、性に関する適切な態度や行動の選択について理解しよう。
- ・性情報にはどのように対処したらよいか考えよう。

② 展開

段階	学習活動【 学習内容 】	指導上の留意点 ◇評価
導入 8分	【性意識の変化・性情報への対処と行動】 1. 挨拶 2. 本時の目標	○ワークシート配布
	性意識の変化と性情報の扱い方について理解を深めよう。 3. 【性的なことに関心を持った経験について考える】 個人で考える→例の内容と照らし合わせてより考える	○今日の授業は先生と生徒で一緒に考えていく授業にすることを伝える。 ○まず、個人で考えさせ、少ししてから例を挙げる ○性的なことへの関心例 ・異性とうまく話せない ・恋愛感情を抱くようになった ・性に関する言葉が出てくるとドキドキした ○自分の経験と教師があげた内容とで照らし合わせて考えてもらう
展開 35分	4. 【性意識について知る】	○「性意識」とは、異性への関心や性的な関心の高まりなどを自己認知すること。(画用紙で見せる) →しかしその感じ方や考え方には個人差があり、また、男女間でのさもあるということを伝える。 →p.52 資料1を使用する ・性意識に変化が現れるということは心も体も成長していることで誰にでも起こりうることだと伝える。
	発問1：皆さんは好きな人ができて、その人と手をつなぐことになった時どのように思ったり、感じたりしますか？	

<p>・個人で考えワークシートに記入し、発表してもらう。</p> <div data-bbox="271 338 738 497"> <p>予想される生徒の反応：うれしく思う、つなぎたくない、腕を組みたい</p> </div> <p>5. 【DV について知る】</p>	<p>・この発問から、好きな人と行動したいことやその時々感情には、個人差があることを生徒に理解してもらう。自分が相手と一緒にしたいことは、必ず相手もしたいとは限らない。</p> <p>自分の言動は自分にしか決定できないことを伝える。</p> <p>○「性的同意」とは、性的な行為をする際、互いに相手の意思を確認すること。（画用紙で見せる） →これは、体に触れたり、手をつないだりすること含まれます。</p>
<div data-bbox="271 857 1402 927"> <p>発問2：暴力など相手を傷つける行為を行ってしまう人はどのような共通点があるか。</p> </div> <div data-bbox="271 956 743 1155"> <p>予想される生徒の反応： イライラしやすく、怒りのはけ口がない。独占欲が強い。強いひと。など</p> </div> <p>・個人で考えてもらいワークシートに記入し、何人かに発表してもらう。</p>	<p>○良く映画のワンシーンで、同級生が喧嘩をして殴り合ったり、相手を言葉で傷つけたりするシーンがあるが、それはどんな感情からくるものなのか、問いかける。</p> <div data-bbox="288 1305 1410 1384"> <p>発問3：理由次第で相手を傷つける暴力や暴言を行っていいのか？（想像してみよう）</p> </div>
<p>・個人で考えてもらいワークシートに記入し、何人かに発表してもらう</p> <div data-bbox="271 1561 758 1731"> <p>予想される生徒の反応；手を出してはいけない、何があっても暴力はいけない、など</p> </div>	<p>○さっき考えた映画のワンシーンにある喧嘩の中での暴力は、ムカついてイラっとして手が出てしまう。喧嘩の暴力と何が違うか？</p> <p>○DV とは、夫婦間や恋人など親しい関係にある男女間で振るわれる暴力のこと</p> <p>例；殴る、蹴るなどの身体的苦痛を与えることや、ひどい言葉などで精神的苦痛を与えること</p> <p>「自分の支配下に相手を置きたいことから、DVにつながる」</p> <p>○生徒が考えやすいよう例を出したり深める発問をする</p> <p>○生徒の反応に対して一つ一つ反応する</p>

	<p>6. 【性情報への対処について知る】</p>	<p>○生徒の答えをさらに深めて反応する</p> <p>○生徒の反応から DV の内容につなげていき、DV について説明する</p> <p>○いかなる場合も絶対に手をだしてはいけないことを強調し、自分の体は自分で守り、判断する。</p>
	<p>発問4：自分の身の回りにある情報源は何だろう？ また、その情報はすべて正しいか考えてみよう。</p>	
	<p>予想される生徒の反応： 友人、テレビ、SNS、雑誌</p> <p>・個人で考え、プリントに記入する →何人かの生徒に発表してもらう 友人の意見もメモを取る</p> <p>・SNS とのかかわり方 p 5 2 資料2を見る</p> <p>事例についてそれぞれの立場になって考えてもらい、個人で発表してもらう。</p> <p>・A 男と B 子は幼馴染の中学1年生で交際しており、A 男は友人から異性交際についての性情報を得ている。</p> <p>・B 子は A 男の部屋に行き、遊んでいたが、突然 A 男は B 子に抱きついた。B 子は拒み泣きながら部屋を出た。</p> <p>〈考えるポイント〉</p> <p>① B 子に抱きついた A 男の気持ち</p> <p>② 泣きながら A 男の部屋を出た B 子の気持ち</p> <p>③ それぞれへのアドバイス</p> <p>○考えてみよう 「SNS を通じた性被害にあわないためにできることは何だろう？」</p>	<p>○発問を考えやすいようにいくつか例を出す →例：テレビ、友人</p> <p>○生徒が普段どこから情報を取り入れているのかを知る。</p> <p>・生徒の情報源を聞いたうえで生徒とともにその情報源が正しいものなのかを考える</p> <p>○「・正しくない情報が含まれている ・知らない人から情報が届く→うその情報、騙して誘導しようとするなど」</p> <p>こうした性情報に惑わされてしまい犯罪に巻き込まれたり、相手も自分自身も心身共に傷ついてしまうこともあるということを伝える→p 5 2 資料2を使用して実際にどんなことがどのくらい起きているのかを知ってもらう。</p> <p>事例から、考えてもらう。</p> <p>○(誤情報を適切に対処するために)</p> <p>・正しい情報を選択し、適切な行動をとる</p> <p>・保護者などの信頼できる大人の助言を参考にする→相談をしにくい、助けてもらえない時などは # 8 1 0 3、# 9 1 1 0、子供の人権 1 1 0 番、みんなの人権 1 1 0 番などの相談窓口があることを伝える</p> <p>○生徒が考えやすいよう性被害の事例を挙げる。 事例1：「なりすまし」 SNS で写真やプロフィールとは全く別人になりす</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・班で考える→一班ずつ発表する ・全体で確認する→p 5 2 資料3を見る 		<p>まし、メッセージのやり取りをする。そこから接触してきて写真などの要求をしてくる。</p> <p>事例2：「リベンジポルノ」</p> <p>元交際相手が交際中に撮影した性的な写真や動画をネットなどで公開したり、交際中の相手から裸の写真を要求され送ってしまいその写真をばらまかれてしまう。</p> <p>このような事例があることを伝え、こういった被害にあわないために何ができるか考えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班を回って話し合いが進んでいない班にはアドバイスをする。 ・発表してもらった内容を黒板に板書する <p>○資料3を元に出た意見と見比べてまとめ</p> <p>◇身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発育する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。【知識】</p> <p><A 評価とするポイント></p> <p>本時の学習を踏まえて、情報を整理し、習得した知識を自分事として捉え、今後の向き合い方などについてワークシートに書き出している。</p> <p><C 評価とするポイント></p> <p>本時の学習を踏まえて、習得した知識を、自分事として捉えることができず、具体的にワークシートに記入することができない。</p> <p><努力を要する生徒絵の手立て></p> <p>自分の生活を振り返ってもらい、その中で、自分がされたいやなことや自分や周りの友人に起きてほしくないことなどを想像して考えてもらうよう助言をしながら個別指導を行う。</p>

